

対象校No. 60

注4

学校コード F104310100923

注3

設置年度 令和

7年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

認可

注2

東北医科薬科大学

大学院

医学研究科

医学専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人東北医科薬科大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	医学部事務部
職名・氏名	課長 柴野 浩樹
電話番号	022-290-8841 (内線: 4112)
(夜間)	022-290-8841 (内線: 4112)
e-mail	igakubu-jimu@tohoku-mpu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

医学研究科

＜医学専攻（D）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東北医科薬科大学

(2) 大学名

東北医科薬科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒983-8536

宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15番1号

(〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカヤナギ モトアキ) 高柳 元明 -(平成13年2月)-	-(タカヤナギ モトアキ)- 高柳 元明 -(令和5年4月)-	・学長職退任にともなう理事長選任が行われたことにより、期間の修正を行った。(6)
学長	(オオノ イサオ) 大野 勲 (令和5年4月)		
学部長	(カンダ テル) 神田 輝 (令和5年4月)		
学科長等			

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してくだ

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)：当該調査対象の学部または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの5年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合には、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学研究科 医学専攻（D） 博士（医学）	医学関係	4年	10人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	40人		

- (注)：定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	10人 () []	人 () []	10人 () []	人 () []	10人 () []	人 () []	0.87倍	-		
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	20 () []	() []	8 () []	() []	9 () []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 () []	() []	8 () []	() []	9 () []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 () []	() []	8 () []	() []	9 () []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 () []	() []	8 () []	() []	9 () []	() []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.9	-	0.8	-	0.9	-				

- (注)：報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」とともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び別第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であつても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	19 [0] (0)	- [] ()	8 [0] (0)	- [] ()	9 [0] (0)	- [] ()	
2年次	/	/	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	18 [0] (0)	- [] ()	8 [0] (0)	- [] ()	
3年次	/	/	/	/	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	18 [0] (0)	- [] ()	
4年次	/	/	/	/	/	/	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	
計	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	19 [0] (0)	- [] ()	26 [0] (0)	- [] ()	35 [0] (0)	- [] ()	

- (注)：報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・[]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、留学者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	19 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	26 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	1 人	人	・その他(1人)
			令和6年度	人	人	
令和7年度	35 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{27} = \boxed{3.7} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学研究科医学専攻 (D) >

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	生命倫理・研究倫理概論	1	2			2	1			1	
	研究方法概論	1	1			11	1	2		2	
	医学統計学・医学統計演習	1	1			2					
	医学英語	1	1			4	2	1			
	地域医学総論	1	2			3	2			1	
	地域医学各論	1	1			2	2				
	横渡し研究・臨床試験各論	1	1			2				6	
	小計(7科目)	-	7	2		17	4	2		9	
	専門科目	細胞生物学特論	1	2			1	1			
		組織解剖学特論	1	2			1				
生理学特論		1	2			1					
神経科学特論		1	2			1	1				
薬理学特論		1	2			1	1				
病理学特論		1	2			1					
医化学特論		1	2			1		1			
微生物学特論		1	2			1	1				
免疫学特論		1	2			1	1				
放射線基礎医学特論		1	2			1	1				
循環器内科学特論		1	2			1	1	1			
呼吸器内科学特論		1	2			2					
消化器内科学特論		1	2			1	2	2			
糖尿病代謝内科学特論		1	2			1					
腎臓内分泌内科学特論		1	2			1	1				
血液学特論		1	2			1	1	3			
臨床免疫学特論		1	2			1	2				
脳神経内科学特論		1	2			1	1	3			
腫瘍内科学特論		1	2			1	1				
精神科学特論		1	2			1	3	1			
小児科学特論		1	2			1	1				
肝胆膵外科学特論		1	2			1	1				
消化器外科学特論		1	2			1	1	1			
呼吸器外科学特論		1	2			1	2	2			
乳腺・内分泌外科学特論		1	2			1	1				
心臓血管外科学特論		1	2			1	1				
脳神経外科学特論		1	2			1	1				
皮膚科学特論		1	2			1	1				
耳鼻咽喉科学特論		1	2			1	1				
産婦人科学特論		1	2			1	2				
泌尿器科学特論		1	2			1	1	1			
形成外科学特論		1	2			1	1				
放射線医学特論		1	2			1					
臨床検査医学特論		1	2			1	1	1			
免疫アレルギー・病態学特論		1	2			2	2				
地域医療管理特論		1	2			1	1				
疫学特論		1	2			1					
法医学特論		1	2			1					
地域医療学特論		1	2			1	2				
整形外科特論		1	2			1	1				
リハビリテーション学特論		1	2			1	1	1			
感染症学特論		1	2			1	1				
腫瘍疫学特論		1	2			1					
基礎医学演習		1	2			10	5	2			
臨床医学演習		1	2			24	26	15			
社会地域医学演習		1	2			8	4	1			
特別研究 I		1	4			42	35	18			
特別研究 II		2	4			42	35	18			
特別研究 III		3	4			42	35	18			
特別研究 IV		4	4			42	35	18			
小計(50科目)	-	16	92		42	35	18				
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	合計(57科目)	-	23	94		42	35	18		9	
卒業要件及び履修方法											
下記の科目により合計30単位以上を修得すること。 ・共通科目:必修5科目7単位と選択必修1科目1単位を含み6科目8単位以上 ・特論科目:主として専攻する領域の1科目2単位(主科目)と主として専攻する領域及び他の領域の1科目2単位(副科目)以上を含み2科目4単位以上 ・演習科目:特論科目(主科目)と同一領域の1科目2単位を含み1科目2単位以上 ・特別研究科目:必修4科目16単位											

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	生命倫理・研究倫理概論	1	2			1	1			2	
	研究方法概論	1	1			10	1	2		3	
	医学統計学・医学統計演習	1	1			2					
	医学英語	1	1			4	1			1	
	地域医学総論	1	2			3	2			1	
	地域医学各論	1	1			2	2				
	横渡し研究・臨床試験各論	1	1			2				6	
	小計(7科目)	-				15	3	2		13	
	専門科目	細胞生物学特論(未開講)	1	2			1	1			
		組織解剖学特論(未開講)	1	2			1				
生理学特論(未開講)		1	2			1		2			
神経科学特論(未開講)		1	2			1	1				
薬理学特論(未開講)		1	2			1				1	
病理学特論		1	2			2					
医化学特論(未開講)		1	2			1		1		1	
微生物学特論(未開講)		1	2			1				1	
免疫学特論(未開講)		1	2			1		1		1	
放射線基礎医学特論(未開講)		1	2			1	1				
循環器内科学特論(未開講)		1	2			2	1	1			
呼吸器内科学特論(未開講)		1	2			1				1	
消化器内科学特論		1	2			2	2	1			
糖尿病代謝内科学特論		1	2			1					
腎臓内分泌内科学特論		1	2			1		2			
血液学特論(未開講)		1	2			1	1	2		1	
臨床免疫学特論(未開講)		1	2			1	2				
脳神経内科学特論		1	2			1	1	2		1	
腫瘍内科学特論(未開講)		1	2			1	1				
精神科学特論(未開講)		1	2			3		1		1	
小児科学特論(未開講)		1	2			1	1				
肝胆膵外科学特論		1	2			1	1				
消化器外科学特論(未開講)		1	2			2	1	1			
呼吸器外科学特論(未開講)		1	2			1	1			3	
乳腺・内分泌外科学特論(未開講)		1	2			1	1				
心臓血管外科学特論(未開講)		1	2			1	1				
脳神経外科学特論		1	2			2					
皮膚科学特論(未開講)		1	2			1					
耳鼻咽喉科学特論(未開講)		1	2			1	1				
産婦人科学特論(未開講)		1	2			2				2	
泌尿器科学特論		1	2			1				1	
形成外科学特論(未開講)		1	2			1		1			
放射線医学特論(未開講)		1	2			1					
臨床検査医学特論(未開講)		1	2			1	1	1			
免疫アレルギー・病態学特論(未開講)		1	2			2	2				
地域医療管理特論		1	2			1	1				
疫学特論		1	2			1		1			
法医学特論(未開講)		1	2			1					
地域医療学特論(未開講)		1	2			1	2				
整形外科特論(未開講)		1	2			1		1		1	
リハビリテーション学特論(未開講)		1	2			1	1	1			
感染症学特論		1	2			1		2		1	
腫瘍疫学特論(未開講)		1	2			1				1	
基礎医学演習		1	2			9	4	4			
臨床医学演習		1	2			32	14	13			
社会地域医学演習		1	2			6	3	4			
特別研究 I		1	4			47	21	21			
特別研究 II		2	4			47	21	21			
特別研究 III		3	4			47	21	21			
特別研究 IV(未開講)		4	4			47	21	21			
小計(50科目)	-				47	21	21		16		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	合計(57科目)	-	23	94		47	21	21		29	
卒業要件及び履修方法											
下記の科目により合計30単位以上を修得すること。 ・共通科目:必修5科目7単位と選択必修1科目1単位を含み6科目8単位以上 ・特論科目:主として専攻する領域の1科目2単位(主科目)と主として専攻する領域及び他の領域の1科目2単位(副科目)以上を含み2科目4単位以上 ・演習科目:特論科目(主科目)と同一領域の1科目2単位を含み1科目2単位以上 ・特別研究科目:必修4科目16単位											

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生命倫理・研究倫理概論	1	2			2	1				1	
	研究方法概論	1	1			11	1	2			2	
	医学統計学・医学統計演習	1	1			2						
	医学英語	1	1			4	1				1	
	地域医学総論	1	2			3	2				1	
	地域医学各論	1	1			2	2					
	精選し研究・臨床試験各論	1	1			2					6	
	小計(7科目)					17	3	2			11	
	専門科目	細胞生物学特論(未開講)	1	2			1	1				
		組織解剖学特論(未開講)	1	2			1	1				
生理学特論(未開講)		1	2			1	1	2				
神経科学特論(未開講)		1	2			1	1					
薬理学特論(未開講)		1	2			1	1					
病理学特論		1	2			1	2					
医化学特論(未開講)		1	2			1	1					
微生物学特論(未開講)		1	2			1	1				1	
免疫学特論(未開講)		1	2			1	1					
放射線基礎医学特論(未開講)		1	2			1	1					
循環器内科学特論(未開講)		1	2			2		1				
呼吸器内科学特論(未開講)		1	2			2						
消化器内科学特論(未開講)		1	2			1	2	2				
補腎代謝内科学特論		1	2			1						
腎臓内科学特論(未開講)		1	2			1	1	2				
血液学特論(未開講)		1	2			1		3				
臨床免疫学特論(未開講)		1	2			1	2					
脳神経内科学特論(未開講)		1	2			1	1	2			1	
腫瘍内科学特論		1	2			1						
精神科学特論(未開講)		1	2			1	2	1			1	
小児科学特論(未開講)		1	2			1	1					
肝胆臓外科学特論(未開講)		1	2			1	1					
呼吸器外科学特論(未開講)		1	2			1	1	1			2	
乳癌・内分泌外科学特論(未開講)		1	2			1	1					
心臓血管外科学特論(未開講)		1	2			1	1					
脳神経外科学特論		1	2			2						
皮膚科学特論(未開講)		1	2			1	1					
耳鼻咽喉科学特論(未開講)		1	2			1	1					
産婦人科学特論(未開講)		1	2			1	1	2			2	
泌尿器科学特論(未開講)		1	2			1					1	
形成外科学特論(未開講)		1	2			1	1					
放射線医学特論(未開講)		1	2			1	1					
臨床検査医学特論(未開講)		1	2			1	1					
免疫学特論(未開講)		1	2			2	2					
地域医療管理特論(未開講)		1	2			1						
疫学特論		1	2			1		1				
法医学特論(未開講)		1	2			1						
地域医療学特論		1	2			1	2					
整形外科特論(未開講)		1	2			1	1					
リハビリテーション科学特論(未開講)		1	2			1	1					
感染症学特論		1	2			1					1	
腫瘍疫学特論(未開講)		1	2			1					1	
基礎医学演習		1	2			10	5	3				
臨床医学演習		1	2			28	19	14				
社会地域医学演習		1	2			7	3	2				
特別研究 I		1	4			45	27	19				
特別研究 II		2	4			45	27	19				
特別研究 III(未開講)		3	4			45	27	19				
特別研究 IV(未開講)		4	4			45	27	19				
小計(50科目)						16	92	42	35	17	10	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	合計(57科目)		23	94		42	35	18			21	

卒業要件及び履修方法

下記の科目により合計30単位以上を修得すること。
 ・共通科目：必修5科目7単位と選択必修1科目1単位を含み6科目8単位以上
 ・特論科目：主として専攻する領域の1科目2単位(主科目)と主として専攻する領域及び他の領域の1科目2単位(副科目)以上を含み2科目4単位以上
 ・演習科目：特論科目(主科目)と同一領域の1科目2単位を含み1科目2単位以上
 ・特別研究科目：必修4科目16単位

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生命倫理・研究倫理概論	1	2			2	1				1	
	研究方法概論	1	1			11	1	2			2	
	医学統計学・医学統計演習	1	1			2						
	医学英語	1	1			4	2	1				
	地域医学総論	1	2			3	2				1	
	地域医学各論	1	1			2	2					
	精選し研究・臨床試験各論	1	1			2					6	
	小計(7科目)					17	4	2			9	
	専門科目	細胞生物学特論	1	2			1	1				
		組織解剖学特論(未開講)	1	2			1	1				
生理学特論(未開講)		1	2			1	1					
神経科学特論(未開講)		1	2			1	1					
薬理学特論(未開講)		1	2			1	1					
病理学特論		1	2			1	2					
医化学特論		1	2			1	1					
微生物学特論(未開講)		1	2			1	1				1	
免疫学特論(未開講)		1	2			1	1					
放射線基礎医学特論(未開講)		1	2			1	1					
循環器内科学特論		1	2			1	1	1				
呼吸器内科学特論(未開講)		1	2			2						
消化器内科学特論		1	2			1	2	2				
補腎代謝内科学特論(未開講)		1	2			1						
腎臓内科学特論		1	2			1	1					
血液学特論(未開講)		1	2			1		3				
臨床免疫学特論(未開講)		1	2			1	2					
脳神経内科学特論		1	2			1	1	2			1	
腫瘍内科学特論		1	2			1						
精神科学特論		1	2			1	3	1				
小児科学特論(未開講)		1	2			1	1					
肝胆臓外科学特論		1	2			1	1					
呼吸器外科学特論		1	2			1	1	1				
乳癌・内分泌外科学特論(未開講)		1	2			1	1					
心臓血管外科学特論		1	2			1	1					
脳神経外科学特論		1	2			1	1					
皮膚科学特論		1	2			1	1					
耳鼻咽喉科学特論(未開講)		1	2			1	1					
産婦人科学特論(未開講)		1	2			1	2					
泌尿器科学特論(未開講)		1	2			1		1				
形成外科学特論(未開講)		1	2			1	1					
放射線医学特論		1	2			1	1					
臨床検査医学特論(未開講)		1	2			1	1					
免疫学特論(未開講)		1	2			2	2					
地域医療管理特論		1	2			1						
疫学特論		1	2			1						
法医学特論(未開講)		1	2			1						
地域医療学特論		1	2			1	2					
整形外科特論		1	2			1	1					
リハビリテーション科学特論(未開講)		1	2			1	1					
感染症学特論		1	2			1	1					
腫瘍疫学特論(未開講)		1	2			1						
基礎医学演習		1	2			10	5	2				
臨床医学演習		1	2			24	26	14				
社会地域医学演習		1	2			8	4	1				
特別研究 I		1	4			42	35	17				
特別研究 II(未開講)		2	4			42	35	17				
特別研究 III(未開講)		3	4			42	35	17				
特別研究 IV(未開講)		4	4			42	35	17				
小計(50科目)						16	92	42	35	17	10	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	合計(57科目)		23	94		42	35	17			10	

卒業要件及び履修方法

下記の科目により合計30単位以上を修得すること。
 ・共通科目：必修5科目7単位と選択必修1科目1単位を含み6科目8単位以上
 ・特論科目：主として専攻する領域の1科目2単位(主科目)と主として専攻する領域及び他の領域の1科目2単位(副科目)以上を含み2科目4単位以上
 ・演習科目：特論科目(主科目)と同一領域の1科目2単位を含み1科目2単位以上
 ・特別研究科目：必修4科目16単位

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・専任教員の就任辞退により、「脳神経内科学特論」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「臨床医学演習」の専任教員等の配置を「講師15」から「講師14」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「特別研究Ⅰ～Ⅳ」の専任教員等の配置を「講師18」から「講師17」に変更。

【令和6年度】

- ・昇格、担当教員変更のため、「医学英語」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「生理学特論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
- ・昇格のため、「医化学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更のため、「微生物学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・昇格のため、「循環器内科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・昇格のため、「糖尿病代謝内科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「腎臓内科学特論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
- ・担当教員変更のため、「精神科学特論」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「消化器外科学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・昇格、担当教員変更のため、「呼吸器外科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「教授1」、「講師2」から「講師1」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・昇格のため、「脳神経外科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員変更のため、「産婦人科学特論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・昇格、担当教員変更のため、「泌尿器科学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「疫学特論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「基礎医学演習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「臨床医学演習」の専任教員等の配置を「教授24」から「教授28」、「准教授26」から「准教授19」、「講師15」から「講師14」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「社会地域医学演習」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」、「准教授8」から「准教授3」、「講師1」から「講師2」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「特別研究Ⅰ～Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授42」から「教授45」、「准教授35」から「准教授27」、「講師18」から「講師19」に変更。

【令和7年度】

- ・担当教員変更のため、「生命倫理・研究倫理概論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・担当教員変更のため、「研究方法概論」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育内容充実のため、「病理学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員変更、教育内容充実のため、「医化学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員変更のため、「免疫学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員変更のため、「呼吸器内科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・昇格のため、「消化器内科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員変更のため、「血液学特論」の専任教員等の配置を、「講師3」から「講師2」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・昇格のため、「精神科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授2」から「准教授0」に変更。
- ・昇格のため、「消化器外科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・昇格のため、「呼吸器外科学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・教育内容充実のため、「産婦人科学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員変更のため、「整形外科学特論」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「感染症学特論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「基礎医学演習」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授9」、「准教授5」から「准教授4」、「講師3」から「講師4」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「臨床医学演習」の専任教員等の配置を「教授28」から「教授323」、「准教授19」から「准教授14」、「講師14」から「講師13」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「社会地域医学演習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」、「講師2」から「講師4」に変更。
- ・昇格、担当教員変更、教育内容充実のため「特別研究Ⅰ～Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授45」から「教授47」、「准教授27」から「准教授21」、「講師19」から「講師21」に変更。

- (注) 2 (1) ③ 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・不要な年度（令和6年度開校であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	48 科目	0 科目	57 科目	9 科目 []	48 科目 []	0 科目 []	57 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	54,140.35㎡	㎡	㎡	㎡				
	運動場用地	28,047.00㎡	㎡	㎡	㎡				
	小 計	82,187.35㎡	㎡	㎡	㎡				
	そ の 他	24,355.02㎡	㎡	㎡	㎡				
	合 計	106,542.37㎡	㎡	㎡	㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		134,037.95㎡ (134,037.95㎡)	- ㎡ (- ㎡)	- ㎡ (- ㎡)	134,037.95㎡ (134,037.95㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	37室	33室	42室	3室 (補助職員-人)	- 室 (補助職員-人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医学研究科医学専攻 (D)			42 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	医学研究科	149,200 [63,700] (143,353 [58,584]) -(141,696) -(58,568) -(138,240) -(56,810) -(132,944) -(59,364)	12,660 [10,442] (15,064 [12,694]) -(14,739) -(12,437) -(14,599) -(12,331) -(12,603) -(10,384)	11,460 [9,900] (13,846 [12,152]) -(13,544) -(11,896) -(13,404) -(11,790) -(11,409) -(9,842)	590 (586) -(584)	5,300 (5,008) -(5,388) (3,721) (4,343)	40 (33) -(30) (15) (28)	パッケージ契約の収載種 増加に伴い、電子 ジャーナル種増加 (6) 円安に伴い、外国書 (電子書籍)の継続 購入を中止 (7)	
	計	149,200 [63,700] (143,353 [58,584]) -(141,696) -(58,568) -(138,240) -(56,810) -(132,528) -(51,602)	12,660 [10,442] (15,064 [12,694]) -(14,739) -(12,437) -(14,599) -(12,331) -(10,255) -(1,190 [540])	11,460 [9,900] (13,846 [12,152]) -(13,544) -(11,896) -(13,404) -(11,790) -(10,255) -(8,732)	590 (586) -(581)	5,300 (5,008) -(5,388) (3,721) (4,343)	40 (33) -(30) (15) (28)		
	(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	2,490㎡	203		19.8万冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	2,496.35㎡	テ ニ ス コ ー ト 2 面					-		
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	円安による外国電子コ ンテンツの契約料高騰に 伴い、執行額増加 (追加予算申請で対 応) (4)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	53,237千円 48,100千円	52,065千円 48,100千円	48,100千円	
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	57,818千円 35,000千円	53,810千円 63,969千円 20,000千円	20,000千円		
	学生1人当 り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		円安による外国電子コ ンテンツの契約料高騰に 伴い、執行額増加 (5)
	400千円	400千円	400千円	400千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		東北医科薬科大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
医学部											
医学科	6	100	-	600	学士(医学)	1.03	1.01	-	平成28	宮城県仙台市青葉区小松島四丁目4番1号(1~2年次) 宮城県仙台市宮城野区福室一丁目12番1号(3~6年次)	
薬学部											
薬学科	6	300	-	1800	学士(薬学)	0.98	-	-	平成18	宮城県仙台市青葉区小松島四丁目4番1号	
生命薬科学科	4	30	-	120	学士(薬科学)	1.05	1.05	-	平成18	同上	令和4年度入学定員減(△10人)
大学全体	-	430	-	2520	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医学専攻 (D)>

(1) ① 担当教員表

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	上条 桂樹 62 <令和5年4月> 医学博士 研究方法概論 細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		石田 雄介 52 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 組織解剖学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	河合 佳子 56 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 生理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		松坂 義哉 55 <令和5年4月> 博士(医学) 医学統計学・医学統計演習 神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	岡村 信行 53 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		中村 保宏 52 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 病理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	上条 桂樹 62 <令和5年4月> 医学博士 研究方法概論 細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		石田 雄介 52 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 組織解剖学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	河合 佳子 56 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 生理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		松坂 義哉 55 <令和5年4月> 博士(医学) 医学統計学・医学統計演習 神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	岡村 信行 53 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		中村 保宏 52 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 病理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	上条 桂樹 63 <令和5年4月> 医学博士 研究方法概論 細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		石田 雄介 53 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 組織解剖学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	河合 佳子 57 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 生理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		松坂 義哉 56 <令和5年4月> 博士(医学) 医学統計学・医学統計演習 神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	岡村 信行 54 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		中村 保宏 53 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 病理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	上条 桂樹 64 <令和5年4月> 医学博士 研究方法概論 細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		石田 雄介 54 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 組織解剖学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	河合 佳子 58 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 生理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		松坂 義哉 57 <令和5年4月> 博士(医学) 医学統計学・医学統計演習 神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	岡村 信行 55 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医学英語 薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		中村 保宏 54 <令和5年4月> 博士(医学) 研究方法概論 病理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	柴田 近 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	田畑 俊治 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	鈴木 昭彦 56 <令和5年4月> 博士(医学)
		乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	川本 俊輔 54 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	小澤 浩司 63 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	佐々木 達也 66 <令和5年4月> 医学博士 脳神経外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	柴田 近 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	田畑 俊治 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	鈴木 昭彦 56 <令和5年4月> 博士(医学)
		乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	川本 俊輔 54 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	小澤 浩司 63 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	佐々木 達也 66 <令和5年4月> 医学博士 脳神経外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	柴田 近 62 <令和5年4月> 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	鈴木 昭彦 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	川本 俊輔 55 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	小澤 浩司 64 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	佐々木 達也 67 <令和5年4月> 医学博士 脳神経外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	柴田 近 63 <令和5年4月> 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	鈴木 昭彦 58 <令和5年4月> 博士(医学)
		乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	川本 俊輔 56 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	佐々木 達也 68 <令和5年4月> 医学博士 脳神経外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	川上 民裕 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	太田 伸男 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	渡部 洋 65 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論 研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論 産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	權太 浩一 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 修 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論 リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	高橋 伸一郎 54 <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床検査医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	川上 民裕 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	太田 伸男 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	渡部 洋 65 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論 研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論 産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	權太 浩一 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 修 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論 リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	高橋 伸一郎 54 <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床検査医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	川上 民裕 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	太田 伸男 62 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	渡部 洋 66 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論 研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論 産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	權太 浩一 62 <令和5年4月> 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 修 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論 リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	高橋 伸一郎 55 <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床検査医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	太田 伸男 63 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	渡部 洋 67 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論 研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論 産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	權太 浩一 63 <令和5年4月> 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 修 62 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論 リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	高橋 伸一郎 56 <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床検査医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	賀来 満夫 69 <令和5年4月> 医学博士
		感染症学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	佐川 元保 65 <令和5年4月> 医学博士
		研究方法概論 腫瘍疫学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	大野 勲 68 <令和5年4月> 医学博士
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	中村 豊 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	山田 隆之 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		放射線医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 弘人 60 <令和5年4月> 保健学博士
		地域医学総論 地域医学各論 地域医療管理学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	賀来 満夫 69 <令和5年4月> 医学博士
		感染症学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	佐川 元保 65 <令和5年4月> 医学博士
		研究方法概論 腫瘍疫学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	大野 勲 68 <令和5年4月> 医学博士
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	中村 豊 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	山田 隆之 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		放射線医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 弘人 61 <令和5年4月> 保健学博士
		地域医学総論 地域医学各論 地域医療管理学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	大野 勲 69 <令和5年4月> 医学博士
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	中村 豊 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	山田 隆之 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		放射線医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 弘人 62 <令和5年4月> 保健学博士
		地域医学総論 地域医学各論 地域医療管理学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	教授	大野 勲 70 <令和5年4月> 医学博士
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	中村 豊 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		免疫アレルギー病態学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	山田 隆之 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		放射線医学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	伊藤 弘人 63 <令和5年4月> 保健学博士
		地域医学総論 地域医学各論 地域医療管理学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	尾形 雅君 56 <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	坂本 一寛 54 <令和5年4月> 博士(医学)
		神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中村 正帆 45 <令和5年4月> 博士(医学)
		薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	生田 和史 48 <令和5年4月> 博士(生命科学)
		研究方法概論 医学英語 微生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	桑原 義和 48 <令和5年4月> 博士(理学)
		放射線基礎医学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	熊谷 浩司 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		循環器内科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	尾形 雅君 56 <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	坂本 一寛 54 <令和5年4月> 博士(医学)
		神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中村 正帆 45 <令和5年4月> 博士(医学)
		薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	生田 和史 48 <令和5年4月> 博士(生命科学)
		研究方法概論 医学英語 微生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	桑原 義和 48 <令和5年4月> 博士(理学)
		放射線基礎医学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	熊谷 浩司 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		循環器内科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	尾形 雅君 57 <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	坂本 一寛 55 <令和5年4月> 博士(医学)
		神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中村 正帆 46 <令和5年4月> 博士(医学)
		薬理学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	桑原 義和 49 <令和5年4月> 博士(理学)
		放射線基礎医学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	熊谷 浩司 58 <令和6年4月> 博士(医学)
		循環器内科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	尾形 雅君 58 <令和5年4月> 博士(薬学)
		細胞生物学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	坂本 一寛 56 <令和5年4月> 博士(医学)
		神経科学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	桑原 義和 49 <令和5年4月> 博士(理学)
		放射線基礎医学特論 基礎医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	熊谷 浩司 59 <令和6年4月> 博士(医学)
		循環器内科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	山本 久仁治 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		肝胆膵外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中野 徹 56 <令和5年4月> 博士(医学) 消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		菅原 崇史 51 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		手塚 則明 59 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	生命倫理・研究倫理概論 呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		渡部 剛 52 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	山本 久仁治 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		肝胆膵外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中野 徹 56 <令和5年4月> 博士(医学) 消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		菅原 崇史 51 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		手塚 則明 60 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	生命倫理・研究倫理概論 呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		渡部 剛 52 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	山本 久仁治 58 <令和5年4月> 博士(医学)
		肝胆膵外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中野 徹 57 <令和5年4月> 博士(医学) 消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		菅原 崇史 52 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		手塚 則明 61 <令和6年4月> 博士(医学)
専任	教授	生命倫理・研究倫理概論 呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		渡部 剛 53 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	山本 久仁治 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		肝胆膵外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	教授	中野 徹 58 <令和7年4月> 博士(医学) 消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		菅原 崇史 52 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	教授	呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		手塚 則明 62 <令和6年4月> 博士(医学)
専任	教授	生命倫理・研究倫理概論 呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
		渡部 剛 54 <令和5年4月> 博士(医学)
専任	准教授	乳腺・内分泌外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	清水 拓也 49 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	菅野 晴夫 49 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	池田 高治 49 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	鈴木 貴博 51 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中西 透 58 <令和5年4月> 博士(医学)
		産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	酒井 啓治 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	清水 拓也 49 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	菅野 晴夫 49 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	池田 高治 49 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	鈴木 貴博 51 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	中西 透 58 <令和5年4月> 博士(医学)
		産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	酒井 啓治 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		産婦人科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	准教授	清水 拓也 50 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	菅野 晴夫 50 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	池田 高治 50 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	鈴木 貴博 52 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	
専任	准教授	

専任	准教授	清水 拓也 51 <令和5年4月> 博士(医学)
		心臓血管外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	菅野 晴夫 51 <令和5年4月> 博士(医学)
		整形外科科学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	池田 高治 51 <令和5年4月> 博士(医学)
		皮膚科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	鈴木 貴博 53 <令和5年4月> 博士(医学)
		耳鼻咽喉科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	准教授	
専任	准教授	

専任	講師	長尾 宗紀 49 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	石橋 直也 43 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	三友 英紀 42 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	伊藤 淳 44 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		泌尿器科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	館 一史 45 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	高橋 麻子 49 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	講師	長尾 宗紀 49 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	石橋 直也 43 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	三友 英紀 42 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	伊藤 淳 44 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		泌尿器科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	館 一史 45 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	高橋 麻子 49 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	講師	長尾 宗紀 50 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	石橋 直也 44 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	
専任	講師	館 一史 46 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	高橋 麻子 50 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

専任	講師	長尾 宗紀 51 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		消化器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	石橋 直也 45 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		呼吸器外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	
専任	講師	館 一史 47 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		形成外科学特論 臨床医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV
専任	講師	高橋 麻子 51 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		リハビリテーション学特論 社会地域医学演習 特別研究 I 特別研究 II 特別研究 III 特別研究 IV

兼担	教授	村井 ユリ子 63 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	吉村 祐一 60 <令和5年4月> 薬学博士
		研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	願 建国 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論
兼担	教授	小嶋 文良 64 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	渡部 輝明 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論
兼担	准教授	岡田 浩司 50 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論

兼担	教授	村井 ユリ子 63 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	吉村 祐一 60 <令和5年4月> 薬学博士
		研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	願 建国 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論
兼担	教授	小嶋 文良 65 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	渡部 輝明 57 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論
兼担	准教授	岡田 浩司 50 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論

兼担	教授	村井 ユリ子 64 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	吉村 祐一 61 <令和5年4月> 薬学博士
		研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	願 建国 60 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論
兼担	教授	
兼担	教授	渡部 輝明 58 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論
兼担	准教授	岡田 浩司 51 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論

兼担	教授	村井 ユリ子 65 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	吉村 祐一 62 <令和5年4月> 薬学博士
		研究方法概論 橋渡し研究・臨床試験各論
兼担	教授	願 建国 61 <令和5年4月> 博士(医学)
		研究方法概論
兼担	教授	
兼担	教授	渡部 輝明 59 <令和5年4月> 博士(医学)
		生命倫理・研究倫理概論
兼担	准教授	岡田 浩司 52 <令和5年4月> 博士(薬学)
		橋渡し研究・臨床試験各論

兼任	講師	濃沼 信夫 74 <令和5年4月> 医学博士 地域医学総論
兼任	講師	水沼 周市 52 <令和5年4月> 修士(薬学) 橋渡し研究・臨床試験各論
兼任	講師	布施 克浩 46 <令和5年4月> 博士(医学) 橋渡し研究・臨床試験各論

兼任	講師	濃沼 信夫 74 <令和5年4月> 医学博士 地域医学総論
兼任	講師	水沼 周市 52 <令和5年4月> 修士(薬学) 橋渡し研究・臨床試験各論
兼任	講師	布施 克浩 46 <令和5年4月> 博士(医学) 橋渡し研究・臨床試験各論

兼任	講師	濃沼 信夫 75 <令和5年4月> 医学博士 地域医学総論
兼任	講師	水沼 周市 53 <令和5年4月> 修士(薬学) 橋渡し研究・臨床試験各論
兼任	講師	布施 克浩 47 <令和5年4月> 博士(医学) 橋渡し研究・臨床試験各論
専任	准教授	辻仲 眞康 52 <令和6年4月> 博士(医学) 消化器外科学特論□ 臨床医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□
専任	講師	林 もゆる 47 <令和6年4月> 博士(理学) 生理学特論□ 基礎医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□
専任	講師	浅香 智美 47 <令和6年4月> 博士(薬学) 生理学特論□ 基礎医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□

兼任	講師	濃沼 信夫 76 <令和5年4月> 医学博士 地域医学総論
兼任	講師	水沼 周市 54 <令和5年4月> 修士(薬学) 橋渡し研究・臨床試験各論
兼任	講師	布施 克浩 48 <令和5年4月> 博士(医学) 橋渡し研究・臨床試験各論
専任	准教授	辻仲 眞康 53 <令和6年4月> 博士(医学) 消化器外科学特論□ 臨床医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□
専任	講師	林 もゆる 48 <令和6年4月> 博士(理学) 生理学特論□ 基礎医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□
専任	講師	浅香 智美 48 <令和6年4月> 博士(薬学) 生理学特論□ 基礎医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□

兼任	講師	菊池 大一 46 <令和5年4月> 博士(医学) 脳神経内科学特論

専任	講師	佐藤 倫広 38 <令和6年4月> 博士(薬学) 疫学特論□ 社会地域医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□
専任	講師	中村 はな 58 <令和6年4月> 博士(薬学) 腎臓内分沁内科学特論□ 臨床医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV
専任	講師	矢花 郁子 45 <令和6年4月> 博士(医学) 腎臓内分沁内科学特論□ 臨床医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV
兼任	講師	菊池 大一 47 <令和5年4月> 博士(医学) 脳神経内科学特論
兼任	講師	賀来 満夫 70 <令和6年4月> 医学博士 感染症学特論
兼任	講師	佐川 元保 66 <令和6年4月> 医学博士 研究方法概論 腫瘍疫学特論

専任	講師	佐藤 倫広 39 <令和6年4月> 博士(薬学) 疫学特論□ 社会地域医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV□
専任	講師	中村 はな 59 <令和6年4月> 博士(薬学) 腎臓内分沁内科学特論□ 臨床医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV
専任	講師	矢花 郁子 46 <令和6年4月> 博士(医学) 腎臓内分沁内科学特論□ 臨床医学演習□ 特別研究I□ 特別研究II□ 特別研究III□ 特別研究IV
兼任	講師	菊池 大一 48 <令和5年4月> 博士(医学) 脳神経内科学特論
兼任	講師	賀来 満夫 71 <令和6年4月> 医学博士 感染症学特論
兼任	講師	佐川 元保 67 <令和6年4月> 医学博士 研究方法概論 腫瘍疫学特論

兼任	講師	瀧沼 信夫 75 <令和6年4月> 医学博士 地域医学総論
		田畑 俊治 58 <令和6年4月> 博士(医学) 呼吸器外科学特論
兼任	講師	伊藤 淳 45 <令和6年4月> 博士(医学) 泌尿器科学特論
		吉村 淳 51 <令和5年4月> 博士(医学) 精神科学概論
兼任	講師	酒井 啓治 60 <令和6年4月> 博士(医学) 産婦人科学概論
		三友 英紀 43 <令和6年4月> 博士(医学) 呼吸器外科学特論

兼任	講師	瀧沼 信夫 76 <令和6年4月> 医学博士 地域医学総論
		田畑 俊治 59 <令和6年4月> 博士(医学) 呼吸器外科学特論
兼任	講師	伊藤 淳 46 <令和6年4月> 博士(医学) 泌尿器科学特論
		吉村 淳 52 <令和5年4月> 博士(医学) 精神科学概論
兼任	講師	酒井 啓治 61 <令和6年4月> 博士(医学) 産婦人科学概論
		三友 英紀 44 <令和6年4月> 博士(医学) 呼吸器外科学特論

兼任	講師	森口 尚 55 <令和7年4月> 博士(医学) 研究方法概論 医化学特論
		中村 晃 56 <令和7年4月> 博士(医学) 生命倫理・研究倫理概論 免疫学特論
兼任	講師	大類 孝 65 <令和7年4月> 博士(医学) 呼吸器内科学特論
		小澤 浩司 65 <令和7年4月> 博士(医学) 整形外科特論
兼任	講師	中村 正帆 47 <令和7年4月> 博士(医学) 薬理学特論
		生田 和史 51 <令和7年4月> 博士(生命科学) 研究方法概論 医学英語 微生物学特論
兼任	講師	室谷 嘉一 48 <令和7年4月> 博士(医学) 腎臓内分泌内科学特論
		菅原 崇史 53 <令和7年4月> 博士(医学) 呼吸器外科学特論
兼任	講師	阿部 正理 52 <令和7年4月> 博士(医学) 血液学特論

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・菊池大一講師が就任辞退となつたため、兼任教員を追加した。

【令和6年度】

- ・授業内容充実のため、浅香智美講師を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、林もゆる講師を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、中村はな講師を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、矢花郁子講師を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、佐藤倫広講師を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、辻中真康准教授を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、菅野晴夫准教授の科目を追加。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、上村聡志講師を准教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、熊谷浩司准教授を教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、澤田正二郎准教授を教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、手塚則明准教授を教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、遠藤俊毅准教授を教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、海法康裕准教授を教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、遠藤史郎准教授を教授へ昇格。 令和5年12月教員審査済。

【令和7年度】

- ・授業内容充実のため、石井智徳教授を追加。 令和6年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、徳永英樹教授を追加。 令和6年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、藤島史喜教授を追加。 令和6年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、高井淳講師を追加。 令和6年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、鈴木潤講師を追加。 令和6年12月教員審査済。
- ・授業内容充実のため、吉田眞紀子講師を追加。 令和6年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、廣田衛久准教授を教授へ昇格。 令和6年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、中野徹准教授を教授へ昇格。 令和6年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、中川誠秀准教授を教授へ昇格。 令和6年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、山田和男准教授を教授へ昇格。 令和6年12月教員審査済。
- ・教育体制充実のため、遠藤克哉講師を准教授へ昇格。 令和6年12月教員審査済。

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
30 名	20 名	30 名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
42	35	18	0	95	0	47	21	21	0	89	0
(42)	(35)	(17)	(0)	(94)	(0)						
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
うち教 授数			うち教 授数								
95	42	0	0			89	47	0	0		
(94)	(42)	(0)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
47	21	21	0	89		52	21	26	0	99	
[Δ5]	[▽14]	[Δ3]	[0]	[▽6]	[0]	[Δ5]	[0]	[Δ6]	[0]	[Δ10]	[0]
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
うち教 授数			うち教 授数								
89	47					99	52				
[▽6]	[Δ5]	[0]	[0]	[Δ10]	[Δ5]	[0]	[0]				

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	5 名	10 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、
 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{89}{95} = \boxed{93.68} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{89} = \boxed{5.61} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	後任・選任・後任の氏名	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	菊池 大一	令和4年3月		選択 脳神経内科学特論	②	一身上の都合により退職したため就任辞退 (R5)			
					選択 臨床医学演習	①				
					必修 特別研究 I	①				
					必修 特別研究 II	①				
					必修 特別研究 III	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	田畑 俊治	R6.3	選択	呼吸器外科学特論	③	R6.3.31付け一身上の都合により辞任
				必修	臨床医学演習	③	
				必修	特別研究 I	③	
				必修	特別研究 II	③	
				必修	特別研究 III	③	
2	准教授	生田 和史	R5.3	必修	研究方法概論	①	R5.10.31付け一身上の都合により辞任
				必修	医学英語	①	
				選択	微生物学特論	③	
				必修	基礎医学演習	③	
				必修	特別研究 I	③	
3	准教授	吉村 淳	R6.3	必修	特別研究 II	③	R6.3.31付け一身上の都合により辞任
				必修	特別研究 III	③	
				必修	特別研究 IV	③	
				選択	精神科学特論	③	
				必修	臨床医学演習	③	
4	准教授	酒井 啓治	R6.3	必修	特別研究 I	③	R6.3.31付け一身上の都合により辞任
				必修	特別研究 II	③	
				必修	特別研究 III	③	
				必修	特別研究 IV	③	
				選択	産婦人科学特論	③	
5	講師	伊藤 淳	R6.3	必修	泌尿器科学特論	③	R6.3.31付け一身上の都合により辞任
				必修	臨床医学演習	③	
				必修	特別研究 I	③	
				必修	特別研究 II	③	
				必修	特別研究 III	③	
6	講師	三友 英紀	R6.3	必修	特別研究 IV	③	R6.3.31付け一身上の都合により辞任
				選択	呼吸器外科学特論	③	
				必修	臨床医学演習	③	
				必修	特別研究 I	③	
				必修	特別研究 II	③	
7	准教授	中西 透	R6.3	必修	特別研究 III	③	R6.3.31付け一身上の都合により辞任
				必修	特別研究 IV	③	
				選択	産婦人科学特論	③	
				必修	臨床医学演習	③	
				必修	特別研究 I	③	

8	教授	森口 尚	R7.3	必修	研究方法概論	①	R7.3.31付け一身上の都合により辞任		
				選択	医化学特論	①			
				必修	基礎医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
9	教授	中村 晃	R7.3	必修	生命倫理・研究倫理概論	①	R7.3.31付け一身上の都合により辞任		
				選択	免疫学特論	③			
				必修	基礎医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
10	教授	川上 民裕	R6.11	選択	皮膚科学特論	①	R6.11.19付け一身上の都合により辞任		
				必修	臨床医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
				必修	特別研究Ⅳ	③			
11	准教授	中村 正帆	R6.6	選択	薬理学特論	①	R6.6.30付け一身上の都合により辞任		
				必修	基礎医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
				必修	特別研究Ⅳ	③			
12	准教授	菅原 崇史	R7.3	選択	呼吸器外科学特論	①	R7.3.31付け一身上の都合により辞任		
				必修	臨床医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
				必修	特別研究Ⅳ	③			
13	准教授	室谷 嘉一口	R6.7	選択	腎臓内分泌内科学特論	①	R7.7.31付け一身上の都合により辞任		
				必修	臨床医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
				必修	特別研究Ⅳ	③			
14	講師	阿部 正理	R7.3	選択	血液学特論	①	R7.3.31付け一身上の都合により辞任		
				必修	臨床医学演習	③			
				必修	特別研究Ⅰ	③			
				必修	特別研究Ⅱ	③			
				必修	特別研究Ⅲ	③			
				必修	特別研究Ⅳ	③			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
14	人	必修	74 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	70 科目
		選択	14 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	8 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	88 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	78 科目

- (注) 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- | |
|--------------------------------|
| ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 |
| ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
15 人	必修	78 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	70 科目
	選択	16 科目	選択	7 科目	選択	1 科目	選択	8 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	94 科目	計	15 科目	計	1 科目	計	78 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{15}{94} = 15.95 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

7 人

(注) ・ (3) -④、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	佐川 元保	必修	研究方法概論	①	R6.3.31付け期間満了により退職							
			選択	腫瘍疫学特論	③								
			必修	社会地域医学演習	③								
			必修	特別研究Ⅰ	③								
			必修	特別研究Ⅱ	③								
			必修	特別研究Ⅲ	③								
2	教授	賀末 満夫	選択	感染症学特論	①	R6.3.31付け期間満了により退職							
			必修	社会地域医学演習	①								
			必修	特別研究Ⅰ	③								
			必修	特別研究Ⅱ	③								
			必修	特別研究Ⅲ	③								
			必修	特別研究Ⅳ	③								
3	教授	小澤 浩司	選択	整形外科学特論	①	R7.3.31付け定年により退職							
			必修	社会地域医学演習	①								
			必修	特別研究Ⅰ	③								
			必修	特別研究Ⅱ	③								
			必修	特別研究Ⅲ	③								
			必修	特別研究Ⅳ	③								
4	教授	大類 幸	選択	整形外科学特論	①	R7.3.31付け定年により退職							
			必修	臨床医学演習	①								
			必修	特別研究Ⅰ	③								
			必修	特別研究Ⅱ	③								
			必修	特別研究Ⅲ	③								
			必修	特別研究Ⅳ	③								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
4	人	必修	21	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	17	科目
		選択	4	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	18	科目

- (注)・定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- | |
|--------------------------------|
| ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 |
| ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年及び一身上の都合で昨年度報告以降計9名の教員が退職となった。該当教員の専門科目の講義担当部分は、審査済専任教員が担当するとした。また、一部科目に並びに特別研究Ⅰ～Ⅳを含む演習系の科目について一部の該当教員担当分の受講希望学生について、こちらも該当分野に研究指導資格をもった他の専任教員が複数いるため、特段支障受講を進めることができるものと考えている。

- (注)・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記す

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和4年)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	「該当なし」		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学研究科 医学専攻 (D) >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>医学部及び医学研究科におけるFD活動を所掌する組織として、全学のFD・SD推進委員会の下に医学部FD部会を設置しており、医学部及び医学研究科特有の教育方針や問題意識から浮かび上がる課題に対応する体制としている。【後述に「FD・SD推進委員会規程」転載】</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>令和6年度は医学部において下記のとおり実施した。</p> <p>【FD・SD推進委員会医学部FD部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(令和6年7月22日開催) / (委員9名中8名出席) 令和6年度医学部FD活動計画の確認及びベストティーチャー賞・グッドティーチャー賞新設の件を中心に議論を行った。 ・第2回(令和6年11月5日開催) / (委員9名中8名出席) 令和6年度医学部FD活動計画に基づき、ベストティーチャー賞・グッドティーチャー賞の対象者選考方法の件を中心に議論を行った。 ・第3回(令和7年3月5日開催) / (委員9名中8名出席) 令和6年度医学部FD活動計画に基づき、ベストティーチャー賞・グッドティーチャー賞の対象者を選考した。また、令和7年度医学部FD活動計画について確認を行い、医学部教務委員会各分科(部門)との連携を図り、PDCAサイクルを円滑に回すことができるよう、授業運営等に活用できるFD活動を充実させていくことを委員会内で確認した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医学部及び医学研究科におけるFD活動の企画並びに実施 (2) 医学部及び医学研究科におけるFD活動の評価 (3) 医学部及び医学研究科におけるFD活動に関する情報の収集と提供
--

<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に特化した講演会やワークショップの実施 ・授業アンケートの実施、集計、解析 <p>b 実施方法</p> <p>オンライン会議システムによるライブ配信及びオンデマンド配信で実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和6年度は全学的な取組として、下記のFD研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「臨床実習における学生指導の事例紹介」（令和6年9月10日実施） 1診療科臨床実習の開始に先立ち、内容の改善や更なる向上を目指してFDを実施した。 （参加者：211名/対面実施） ・「行動科学教育に関するFD講演会」（令和6年11月13日実施） 分野別評価における「6年間の一貫した行動科学教育」を講評を踏まえ、体制整備はもちろん、学内教員理解促進のため、埼玉医科大学より外部講師を招きFDを実施した。 （参加者：75名/ライブ配信） ・「アクティブ・ラーニングに関するFD」（令和7年2月18日実施） 学内におけるアクティブラーニング実践例について学内当該教育方法推進する教員を中心にFDを実施した。 （参加者：51名/対面実施） ・「合理的配慮に関するFD」（令和7年3月25日実施） 学生のメンタルヘルスと合理的な配慮の実践、促進のため、学内精神科教員がFDを実施した。 （参加者：91名/対面実施） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>上記講演会をアーカイブ配信するすることで教員はそれら講演会の内容を常時確認することができ、授業運営に活用することを可能としており、教員は実践例等常時参考することができるようにしている。また、学生アンケートの集計結果を科目担当者へフィードバックすることで、自身の授業運営と学生が求める教育内容に乖離がないか客観的に見つめ直す機会として、「授業の振り返りと改善等報告書」の提出を求めている。</p> <p>なお、各種講演会への参加状況については、全学のFD・SD推進委員会において体系的に取りまとめており、昨今の働き方改革等の概要も踏まえ、講演会の開催時刻等を早める等、さらなる参加率の向上に向けた方策を継続検討している。</p> <p>【転載資料：「FD・SD推進委員会規程」】</p> <p>○FD・SD推進委員会規程</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 東北医科薬科大学におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するため、FD・SD推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。</p> <p>（定義）</p> <p>第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) FDとは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組をいう。</p> <p>(2) SDとは、教職員全員を対象とした、管理運営及び教育・研究支援等に係る資質・能力向上のための組織的な取組をいう。</p> <p>（構成）</p> <p>第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。</p> <p>(1) 研究科長</p> <p>(2) 学部長</p> <p>(3) 教養教育センター長</p> <p>(4) 各学部の学生委員会委員長、教務委員会委員長</p> <p>(5) 薬学教育センター長</p> <p>(6) 医学教育推進センター長</p> <p>(7) 事務局長</p> <p>(8) その他学長が必要と認めた者</p> <p>2 委員会に、委員長を置き、委員長は学長が指名する。</p> <p>3 委員会に、部局等のFD・SD活動を推進するための部会を設置する。</p> <p>（役割）</p> <p>第4条 委員会は、本学のFD・SD活動が持続的に実行されるよう、次の事項について審議するとともに、各年度におけるFD・SD活動を統括するものとする。</p> <p>(1) FD・SD活動の企画並びに実施</p> <p>(2) FD・SD活動の評価</p> <p>(3) FD・SD活動に関する情報の収集と提供</p> <p>(4) 部会の活動に関する事項</p> <p>(5) その他学長の諮問する事項</p> <p>（会議）</p> <p>第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、あらかじめ委員長が委員の中から指名する者をもって代理とすることができる。</p> <p>2 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。</p> <p>（部会）</p> <p>第6条 第3条第3項に規定する部会は、次の各号に掲げる部会とする。</p> <p>(1) 薬学部FD部会</p> <p>(2) 医学部FD部会</p> <p>(3) SD部会</p> <p>2 部会に、委員会の選任により、部会委員長を置く。</p> <p>3 部会に、部会委員長の選任により、専門委員若干名を置く。</p> <p>4 第1項第1号及び第2号の部会は、各学部におけるFD活動を実施する。</p> <p>5 第1項第3号の部会は、SD活動を実施する。</p> <p>6 この規程に定めるもののほか、部会に関し必要な事項は、別に定める。</p> <p>（事務局）</p> <p>第7条 委員会の事務局は、企画部企画課が担当する。</p> <p>2 前条第1項各号に掲げる部会の事務局はそれぞれ、第1号の部会は学務部教務課が、第2号の部会は医学部事務部教務課が、第3号の部会は企画部企画課及び総務人事課が担当する。</p> <p>（規程の改廃）</p> <p>第8条 この規程の改廃は、委員会の発議により、大学運営会議の意見を徴して、理事会の議を経て決定する。</p>	<p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>実施予定（前期末、後期末）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>調査結果は、各授業科目担当者にフィードバックするとともに、研究科委員会に報告予定である。また、学生に対してはeラーニングプラットフォームを活用し公表予定である。</p>
---	--

(注)「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

【該当なし】

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和5年4月に開設した医学研究科（博士課程）は、平成28年4月に開設した医学部医学科と連携し、強い使命感のもとで地域社会の発展に貢献できる医学・生命科学研究者および高度専門職業人の養成を目的として設置したものである。継続的な広報活動をとおり、入学定員10名に届かなかったものの今年度も9名の学生が入学した。

当研究科設置から3年目を迎え、入学定員に届かない年度があるものの、多種多様な背景を持つ学生が入学してきていることで、研究科の活動はさらに促進されることが見込まれる。今後も引き続き上述の趣旨に則した人材並びに多くの本学卒業生が本研究科を志願のうえ、入学してもらえよう、さらなる広報活動充実を図るとともに、設置計画を着実に履行できるよう、ハード・ソフト両面における研究支援体制の充実並びに地域社会の持続的発展に寄与する優れた人材を養成していきたく考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学の自己点検・評価は、全学の自己点検・評価委員会が統括しており、日本高等教育評価機構が行う大学機関別認証評価で定める評価基準を準用した自己点検評価書を毎年度作成・公表（10月）することにより、恒常的に自らの点検・評価を実施している。また、毎年度の事業計画に対する各事業部門の取組について点検・評価を行い、点検結果は学長の諮問機関である大学運営会議を通じて各事業部門にフィードバックされ、次年度の事業計画に反映している。なお、点検結果を踏まえた事業計画は毎年3月に公表している。令和5年4月に開設した医学研究科については主に医学部と連動しながら、全学の点検・評価体制の中でPDCAサイクルを回す予定である。

b 公表方法

自己点検・評価に基づく本学報告書は、役員・教職員に配付し、ホームページにも掲載している。

③ 認証評価を受ける計画

大学としては、大学機関別認証評価（日本高等教育評価機構）を令和2年度に受審し、大学評価基準に適合していると認定されている。また、令和5年度内に医学部医学科分野別認証評価を受審し、認定となっている。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。